

(2016年度)

5 世界史問題 (60分)

(この問題冊子は23ページ、4問である。)

受験についての注意

1. 試験監督者の指示があるまで、問題冊子を開いてはならない。
2. 試験開始前に、試験監督者から指示があったら、解答用紙の右上の番号が自分の受験番号と一致することを確認し、所定の欄に氏名を記入すること。次に、解答用紙の右側のミシン目にそって、きれいに折り曲げてから、受験番号と氏名が書かれた切片を切り離し、机上に置くこと。
3. 試験監督者から試験開始の指示があったら、この問題冊子が、上に記したページ数どおりそろっていることを確かめること。
4. 筆記具は、HかFかHBの黒鉛筆またはシャープペンシルに限る。万年筆・ボールペンなどを使用してはならない。時計に組み込まれたアラーム機能、計算機能、辞書機能やスマートウォッチなどのウェアラブル端末を使用してはならない。
5. 解答は、解答用紙の各問の選択肢の中から正解と思うものを選んで、そのマーク欄をぬりつぶすこと。
6. マークをするとき、マーク欄からはみ出したり、白い部分を残したり、文字や番号、○や×をつけたりしてはならない。また、マーク箇所以外の部分には何も書いてはならない。
7. 訂正する場合は、消しゴムでていねいに消すこと。消しきずはきれいに取り除くこと。
8. 解答用紙を折り曲げたり、破ったりしてはならない。
9. 試験監督者の許可なく試験時間中に退場してはならない。
10. 解答用紙を持ち帰ってはならない。
11. 問題冊子は必ず持ち帰ること。

1

次の文章(A, B)を読んで、問(1～8)に答えなさい。

A イタリア北部、ミラノから北東15 kmにモンツァという都市がある。その大聖堂には、イタリア王位を象徴する鉄王冠Corona Ferreaが保管されている。これは、キリスト教最高の聖遺物のひとつで、同時に中世初期に淵源するヨーロッパ最古の王冠であり、当初はランゴバルド王の、のちに中世イタリア王の戴冠たいに使用された。



この王冠は、もともとは黄金製の板を8片つないだ円環の内側に、イエスを十字架に打ち付けたと伝えられる3本の鉄クギ(聖釘)のうち1本が、1 cm幅に延ばされて带状に取り付けられた簡素な作りであった。聖釘はコンスタンティヌス帝の生母ヘレナが聖地巡礼で発見したとされ、数々の著名な支配者たち(3)がこの王冠で戴冠されてきた。ランゴバルド王の手に落ちた経緯は不明である。

問1 下線部(1)の人物について述べた文として誤っているものを、次の選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a しばしば「イエス＝キリスト」と表記されるが、「キリスト」は「救世主(メシア)」の意である。
- b 4世紀ごろまでに成立した『新約聖書』は全部で27書からなり、イエスの言動を記した4つの福音書が含まれている。
- c イエスの直弟子には、ペテロ(ペトロ)を筆頭に十二使徒がいたが、パウロはその中に含まれない。
- d イエスは、ローマ皇帝ネロの治世下で、属州総督ピラトにより十字架刑に処せられた。

問2 下線部(2)の人物について述べた文として誤っているものを、次の選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a 下落した貨幣価値を立て直すために、ソリドゥス銀貨を創設した。
- b すべての宗教に信仰の自由を認めたミラノ勅令に署名した。
- c 彼は帝国東部に新たな首都を創建し、コンスタンティノープルと名付けた。
- d 彼はキリスト教内の神学論争を解決すべくニケーア公会議を主催した。

問3 下線部(3)に該当する人物として、以下の(イ～ホ)の5名が挙げられる。彼らについて述べた文として誤っているものを、それぞれの選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

(イ) オットー1世

- a 彼は選挙王制になった東フランク王国の国王、すなわちザクセン朝第2代目のドイツ王である。
- b 国内の諸侯勢力を押さえるため帝国教会政策を促進し、ラヴェンナ地方を教皇に寄進した。
- c 彼が教皇ヨハネス12世からローマ皇帝冠を授けられたことが、神聖ローマ帝国開始とみなされている。
- d 国内に侵入したマジャール人をレヒフェルトの戦いで退け、またスラブ人の侵入も退けた。

(ロ) カール大帝(シャルルマーニュ)

- a 彼は支配領域の有力者を伯に任命し、聖俗の側近を巡察使として派遣して監視させた。
- b ローマのサン＝ピエトロ大聖堂で、ローマ教皇レオ3世によりローマ皇帝の冠を授けられた。
- c イギリス出身の神学者アルクインなどを招き、古典文化の復興運動に努めた。
- d スペインに遠征してイスラーム勢力と戦い、トゥール・ボワティエ間の戦いで勝利した。

(ハ) ナポレオン = ボナパルト

- a 大陸封鎖令を無視してイギリスに穀物を輸出したロシアに対して遠征したが^(あ)、失敗した。
- b 彼は教皇ピウス7世と宗教協約(コンコルダート)を結び^(い)、カトリック教会と和解した。
- c 彼はパリのノートルダム大聖堂でフランス皇帝に即位^(う)して、ナポレオン1世が誕生した。
- d 彼はドイツ南西部にライン同盟を組織^(え)して保護下におき、神聖ローマ皇帝も兼ねた。

(ニ) ハインリヒ4世

- a イタリアで大司教や司教を任命し、教権確立を図る教皇グレゴリウス7世に問題視され、叙任権闘争が開始した。
- b ドイツ諸侯は王権・帝権の強化を忌避して、教皇権と気脈を通じて彼に反旗を翻した。
- c ドイツ諸侯の離反に直面した彼は、カノッサで教皇に忠誠を誓って破門を解かれた。
- d 彼は教皇グレゴリウス7世とヴォルムス協約を締結し、これにより叙任権闘争は終息^{そく}した。

(ホ) フリードリヒ1世(バルバロッサ)

- a 彼は、「大空位時代」のあとシュタウフェン朝の神聖ローマ皇帝となった。
- b 第3回十字軍に英王・仏王とともに出陣したが、その途上で死亡した。
- c バルバロッサという愛称は「赤髭^{ひげ}」の意味だった。
- d イタリア政策に力を注ぎ遠征を繰り返したが、ロンバルディア同盟に阻まれた。

問4 問3の人物(イ～ホ)を時代の古い順に並べたとき、4番目に位置するのは誰か。次の選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

a イ b ロ c ニ d ホ

問5 問3の(イ)の人物についての選択肢のなかで、下線部(あ～え)を時代の古い順に並べたとき、2番目に位置するのはどれか。次の選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

a あ b い c う d え

B ミラノの南約30 kmのパヴィアはいまでこそ人口7万の小都市だが、かつて①ランゴバルド王国の首都で、中世にはイタリア王権の首都とみなされ、神聖ローマ皇帝は12世紀に至るまでイタリア王の戴冠式をここで挙行了た。

そもそもイタリア王国とはなにか。475年に、西ローマ皇帝ユリウス・ネポスが軍事長官オレステスにより追放され、オレステスの息子ロムルス・アウグストゥルスが父の傀儡として^{からい}ラヴェンナで皇帝に祭り上げられた。それから②10ヶ月後、オレステスの部下でゲルマン人将軍(1)が反乱を起こし、パヴィアでオレステス殺害・幼帝廃位に追い込み、帝位は東ローマ皇帝ゼノンに返上、自らはイタリア王となった。

(1)の治世は長く続かなかった。皇帝ゼノンが自らの軍事長官の(2)人(3)に、イタリア遠征を命じたからである。488年、(3)に率いられた(2)人がイタリアに侵入、(1)は5年にわたる戦いで徐々に追い詰められ、493年降伏し、その直後暗殺されてしまった。

(3)はイタリア王を名乗ることを許され、北イタリアを中心に(2)王国が建国された。彼は、幾つかの都市で大公共建造物建設を開始する。また近隣諸国との和平を婚姻政策ではかり、フランク王(4)の妹を妻に迎えたのを始めとし、娘や妹も嫁がせた。しかし彼自身(5)の信徒だったので、東ローマ皇帝との関係は徐々に悪化し、後継者も得ることができず、526年に死亡した。彼の霊廟はラヴェンナに建てられた。ラヴェンナには今に至るまで(5)の遺跡が多く残っていて、世界遺産にもなっている。

余談ながら、ラヴェンナには、母国^③フィレンツェを追われた(6)が1317年頃から留まり、トスカナ語で代表作(7)を書き、そこで客死して墓もある。

問6 文章中の空欄(1～7)に入る語としてもっとも適切なものを、選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- (1) a アッティラ b オドアケル c クローヴィス
 d テオドリック
- (2) a ヴァンダル b 西ゴート c 東ゴート d ブルグンド
- (3) a アッティラ b オドアケル c クローヴィス
 d テオドリック
- (4) a カール＝マルテル b クローヴィス c ピピン
 d ロタール1世
- (5) a アリウス派 b イシス教 c ネストリウス派
 d ミトラ教(ミトラス教)
- (6) a エラスムス b ダンテ c ペトラルカ
 d マキャヴェリ
- (7) a 『愚神礼賛』 b 『君主論』 c 『叙情詩集』 d 『神曲』

問7 問6において、文章中の空欄(6)の選択肢に挙げられた4名のうち、イタリア人のみを没年の早い順に並べると、最後に位置するのは誰か。次の選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a エラスムス b ダンテ c ペトラルカ d マキャヴェリ

問8 文章Bに登場した下線部(①~③)の都市の場所を、下記の北イタリアの地図の選択肢(a~h)から1つ選びなさい。

- ① ミラノ ② ラヴェンナ ③ フィレンツェ



2 次の文章を読んで、問(1~13)に答えなさい。

ヨーロッパの南西に位置するイベリア半島は、半島の付け根を走る(1)山脈によってフランス以北のヨーロッパと隔てられる一方、南西端は最狭部わずか14キロメートルという海峡を挟んでアフリカ大陸と近接する。北と西は大西洋に、南と東は地中海に囲まれている。「イベリア」という呼称は、紀元前1世紀に各地を旅して地誌を記したギリシア人(2)の著書に登場する。

イベリア半島の地理的条件は古来、半島とそのおよそ5分の4を占めるスベ

ンの歴史や文化に影響を及ぼしてきた。かつて、「ヨーロッパは(1)で終わる」といわれたように、スペインは長い間、フランス以北のヨーロッパとは異質なものと見なされていた。その要因は、(3)以来、数世紀にわたってムスリムの支配を受けたという歴史にあるといえよう。^(イ)後ウマイヤ朝が首都に築いたかつての大モスクや宮殿などのイスラーム建築は、その支配の証言者であり、今日も残る「エキゾチックな国」というスペインのイメージと分かちがたく結びついている。とはいえ、ムスリム支配の間も他のヨーロッパ地域との交流が断たれてはいたわけではない。特に11世紀から12世紀にかけては、半島西北部の(4)を指す巡礼が流行し、南フランスやイタリアなどと共通の分厚い壁や小窓を特徴とする建築様式が半島にも広まった。^(エ)

イスラーム教徒からの国土回復運動(レコンキスタ)完了後、16世紀のスペインは、ハプスブルク家の君主のもとでヨーロッパ政治の主導的地位を獲得し、しばしば他のヨーロッパ諸国と激しく対立した。そうした中、敵対する国々は自らの政治的利益のために、スペインによるプロテスタントの弾圧やアメリカ大陸におけるインディオ虐殺などを誇張して広め、スペインの威信の失墜を図った。こうした反スペインのプロパガンダが生んだ“残虐で狂信的”というネガティブなスペイン観が変化するのは、19世紀になってからである。^(オ)

19世紀初め頃にスペインを占領したナポレオン軍が略奪して国外に持ち出した美術作品や、同時代の文芸思潮であるロマン主義の広まりは、フランスを中心とする他のヨーロッパ諸国に、かつてないスペインへの関心を呼び覚ました。長い間、否定的な見方がされていたスペインに、大いなる期待と憧憬をもって著名な文筆家や美術家が訪れ、この国に着想を得た文学作品や美術作品が生み出された。1838年には時のフランス王(5)がルーブル美術館にスペイン絵画館を開かせている。世紀半ばの写実主義を代表する画家(6)や「印象派の父」と称されるマネなども、スペイン趣味を反映した作品を残した。^(カ)

問1 空欄(1～6)に入るもっとも適切な語を，選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- (1) a カルパティア b カフカス c ピレネー
d アパラチア
- (2) a フェイディアス b ストラボン c エピクテトス
d プロタゴラス
- (3) a 661年 b 711年 c 732年 d 756年
- (4) a クリュニー b サンチャゴ=デ=コンポステラ
c トレド d モンテ=カシノ
- (5) a ルイ18世 b ルイ=フィリップ c ルイ=ナポレオン
d シャルル10世
- (6) a セザンヌ b ワトー c ダヴィド d クールベ

問2 下線部(ア)の海峡に面した同名の半島がイギリス領となったのは，以下のどの条約によってか。選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a ピレネー条約 b ユトレヒト条約 c パリ条約
d ロンドン条約

問3 下線部(イ)に関する以下の記述のうち誤っているものはどれか。選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a 北アフリカからイベリア半島に侵入した最初のイスラーム王朝は、アラビア語を公用語とした。
- b イベリア半島を支配していたイスラーム王朝の君主がカリフの称号を用い始めたのは10世紀のことである。
- c 11世紀にイベリア半島に進出したベルベル系のイスラーム王朝は、サハラ以南にも勢力を拡大した。
- d イベリア半島最後のイスラーム王朝は、マラケシュに首都を置いていた。

問4 下線部(ウ)に関する以下の記述のうち正しいものはどれか。選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a これは現存する世界最古のモスクである。
- b このモスクは二重のアーチ構造を特徴とする。
- c このモスクのある町は12世紀にキリスト教徒によって奪還された。
- d このモスクを創建したのは、アブド=アッラフマーン3世である。

問5 下線部(エ)の建築様式の聖堂を、選択肢(a～e)から2つ選びなさい。

- a ヴォルムス大聖堂 b ケルン大聖堂 c アミアン大聖堂
- d ピサ大聖堂 e ノートルダム大聖堂(パリ)

問6 下線部(オ)に関連する以下の出来事(A～D)を古いものから年代順に並べるとどうなるか。正しいものを選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- A 無敵艦隊の敗北
 - B オランダ独立戦争勃発
 - C シュマルカルデン戦争
 - D ポルトガル併合
- a B→A→C→D
 - b C→B→D→A
 - c C→D→B→A
 - d B→C→A→D

問7 下線部(カ)に関する以下の記述のうち誤っているものはどれか。選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a ルターは司教制度を維持した。
- b 「プロテスタント」の呼称は、ヴォルムス帝国議会でルター派が禁じられたことへの抗議に由来する。
- c ヘンリ8世は修道院を廃止し、その土地を払い下げた。
- d カルヴァンは魂の救済と善行は無関係だと主張したが、勤勉と禁欲は奨励した。

問8 下線部(キ)に関する以下の記述のうち誤っているものはどれか。選択肢(a～e)から2つ選びなさい。

- a ピサロはリマを建設した。
- b スペイン国王はエンコミエンダ制の下で植民地を直接支配した。
- c スペイン商人がアカプルコとマニラを結んで行った貿易はガレオン貿易とも呼ばれる。
- d 1545年に現在のメキシコでポトシ銀山が発見された。
- e イギリスはスペイン領アメリカに黒人奴隷を供給した。

問9 下線部(ク)に関する以下の記述のうち、誤っているものはどれか。選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a ナポレオン軍に対し、1808年にスペイン市民が蜂起した。
- b ナポレオンは兄ジョゼフをスペイン王位につけた。
- c 対フランス独立戦争が終結すると、スペインで共和政が始まった。
- d ナポレオン軍はポルトガルに侵攻した後、スペインも占領した。

問10 下線部(ケ)に属さない人物を、選択肢(a～e)から2人選びなさい。

- a ハイネ b バイロン c ワーズワース d デフォー
- e ヘミングウェイ

問11 下線部(ケ)に関する以下の記述のうち誤っているものを、選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

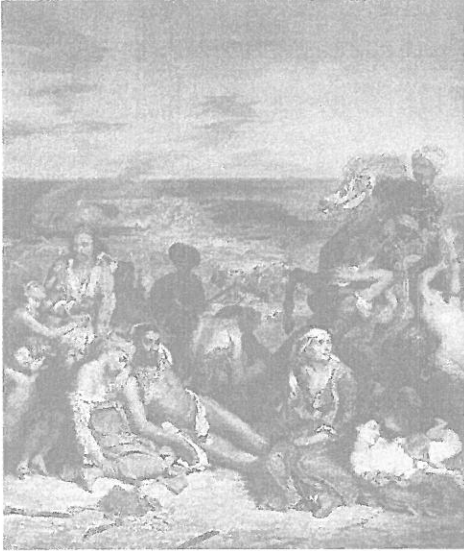
- a 啓蒙思想への反発として生じた。
- b 民族文化の伝統を尊重し、国民文化の形成を促した。
- c 音楽ではモーツァルトやベートーヴェンに代表される。
- d ドイツのゲーテやシラーはこれの先駆けとなる文学運動に属していた。

問12 下線部(コ)に属す作品とその作者の組み合わせとして正しいものを、選択肢(a～e)から2つ選びなさい。

- a 『ボヴァリー夫人』、フロベール
- b 『悪の華』、バルザック
- c 『オリヴァー＝トウィスト』、ディケンズ
- d 『失樂園』、ミルトン
- e 『居酒屋』、モーパッサン

問13 下線部(ケ)、(コ)のいずれにも属さない作品を、図版の選択肢(a～e)から2つ選びなさい。

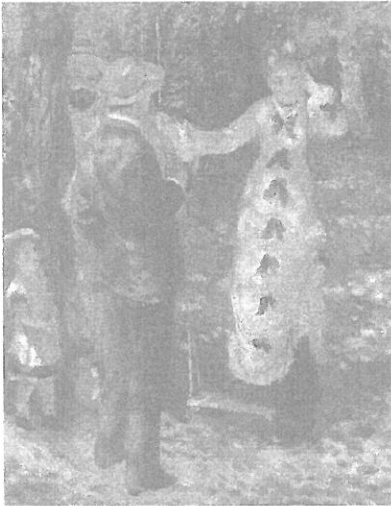
a



b



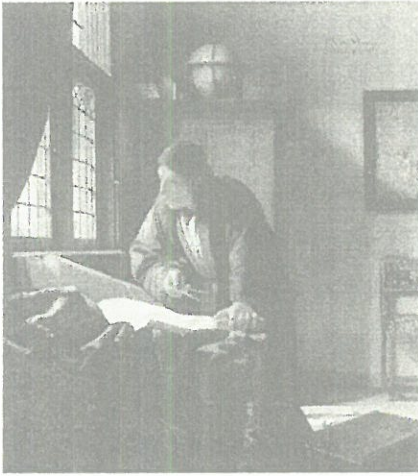
c



d



e



3 次の文章を読んで、問(1～2)に答えなさい。

1人の若者の死をきっかけに、チュニジアでアラブの民主化運動(「アラブの春」)がはじまった。それにより(1)年にチュニジアではベンアリ政権が、(2)ではムバラク政権が崩壊した。しかし、新たな体制が生まれたとはいえ、シリアやイエメンのように、混迷が深まった国もある。シリアでは、(3)などの遺跡にも被害がでた。

「アラブの春」が起きた国々の多くは、外国の介入を経験してきた。(4)でマフディーの乱が起きた同年の1881年から、チュニジアは1956年まで(5)の植民地支配を受けた。リビアは、(6)で創設されたイスラーム神秘主義教団のサヌーシー教団が抵抗したものの、1911～12年のイタリア＝トルコ戦争の結果、イタリアの支配下におかれた。エチオピアもイタリアに侵入されたが、1896年に(7)でイタリアに勝利し、(8)とならんでほとんどが分割されたアフリカ大陸で独立を守る例外的な国となった。

1914年以来イギリスの保護国となっていたエジプトでは、エジプト王国が1922年に建てられ、1924年から52年まで(9)が議会政治における主導権を握った。しかし、イギリスは軍事支配権を温存し、さまざまな特権を留保した。

シリアは1920年に独立を宣言したが、第一次世界大戦が終わると、大戦中の英仏間の密約に従って、(10)とともにフランスの委任統治下におかれた。イラクは1920年の(11)にもとづきイギリスの委任統治下におかれ、イラク王国となった。アラビア半島では、(12)がイギリスの援助を得て独立し、1932年に(13)を建国してその初代国王になった。

パレスチナ地方については、イギリスの委任統治下におかれた後、(14)年にイスラエルが建国したが、パレスチナから追放された100万人以上のアラブ人^(イ)(パレスチナ人)は難民となった。このパレスチナ問題は、その後も長く中東における紛争要因となっていった。

1973年の石油危機を経て、1979年にエジプト = イスラエル平和条約がエジプト^(ロ)とイスラエルのあいだで結ばれた。^(ハ)しかし、イスラエル占領下におかれたパレスチナ人の状況はきびしいままであった。そのような状況のなかで、パレスチナ人は基本的な生活環境が改善されないことに抗議して、それまでのようにパレスチナ解放機構(PLO)やアラブ諸国にたよることをあきらめ、1987年から、ヨルダン川西岸地区などでインテッファダを起こした。1993年にはパレスチナ暫定自治協定が結ばれ、ガザ地区と(15)にかぎって先行自治を認める暫定自治政府が成立した。しかし、アメリカの中東外交に力を得たイスラエルは占領地への入植を停止せず、パレスチナ側の強い反発を招いた。

問1 文章中の空欄(1～15)に入る語としてもっとも適切なものを、選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- (1) a 2004 b 2007 c 2009 d 2011
- (2) a イエメン b エジプト c サウジアラビア d リビア
- (3) a パルミラ b ペルセポリス c バーミヤン
d エピダウロス
- (4) a エチオピア b スーダン c モロッコ d イラン
- (5) a イギリス b フランス c イタリア d ドイツ
- (6) a ダマスカス b トリポリ c メッカ d カイロ
- (7) a ファショダ b アデン c ハルツーム d アドワ
- (8) a リベリア b エリトリア c タンザニア d ソマリア
- (9) a ムスリム同胞団 b ワフド党 c 共和人民党
d 自由将校団
- (10) a パレスチナ b イラク c ヨルダン d レバノン
- (11) a フセイン(フサイン)・マクマホン協定
b セーヴル条約 c ローザンヌ条約 d サイクス・ピコ協定
- (12) a イブン＝サウード(アブド＝アルアジーズ)
b フセイン(フサイン) c ファイサル
d ムハンマド＝アフマド
- (13) a ヒジャーズ王国 b ヒジャーズ＝ネジド王国
c サウジアラビア王国 d ワッハーブ王国
- (14) a 1945 b 1948 c 1951 d 1954
- (15) a ヘブロン b テルアヴィヴ c ナブルス d イェリコ

問2 下線部(イ～ホ)に関する以下の問い(イ～ホ)の答えとしてもっとも適切なものを、選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

(イ) イスラエル建国時のイスラエル首相は誰か。

a ラビン b シャロン c ネタニエフ d ベングリオン

(ロ) 石油価格の変動は政治的な出来事と関係している。1990年の石油価格の上昇に影響を与えた出来事は何か。

a イラクのクウェート侵攻 b 第4次中東戦争
c (米国での)同時多発テロ事件 d 米英軍のイラク攻撃

(ハ) 1979年に起きた出来事ではないものはどれか。

a ベトナム社会主義共和国成立 b 米国と中国の国交正常化
c イラン革命 d ソ連のアフガニスタン侵攻

(ニ) 仲介したアメリカ合衆国の大統領は誰か。

a ケネディ b レーガン c ブッシュ d カーター

(ホ) エジプト＝イスラエル平和条約により、エジプトに返還された土地はどれか。

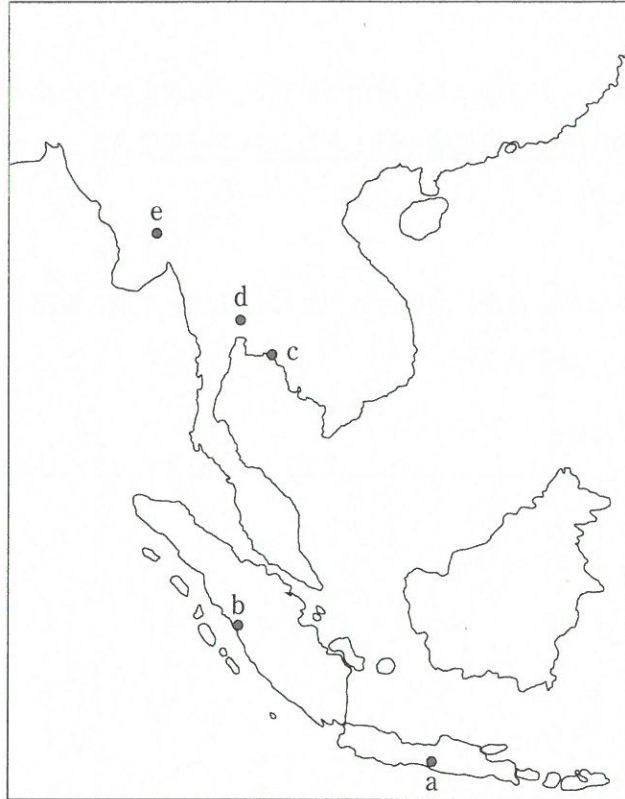
a グラン高原 b ガザ c ヨルダン川西岸 d シナイ半島

4 東南アジア、南アジアのユネスコ世界遺産に関する次の文章(I～III)を読んで、問(1～13)に答えなさい。解答はもっとも適切なものを選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

I この遺跡はシャム湾北岸の港市国家として成立した王朝の都であった。この王朝は最盛期には中国・日本やヨーロッパ諸国との外交・交易関係をもった。江戸初期の貿易奨励の方針から、多くの日本人が東南アジア各地に渡航・居住し、ここにも自治権を与えられた日本町を建設した。

問1 1991年世界遺産に登録されたこの遺跡はどこか。地図1の選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

地図1



問2 13世紀半ばに形成され、やがてIの王朝に併合されたのはどれか。

- | | |
|-----------------|-------------------|
| a タウンゲー(トゥンゲー)朝 | b ラーンサーン王国 |
| c スコータイ朝 | d コンバウン(アラウンパヤー)朝 |
| e パガン朝 | |

問3 下線部(ア)の形成を促進した要因はどれか。

- | | | | |
|---------|--------|--------|----------|
| a 前期倭寇 | b 後期倭寇 | c 勸合貿易 | d 南海諸国遠征 |
| e 朱印船貿易 | | | |

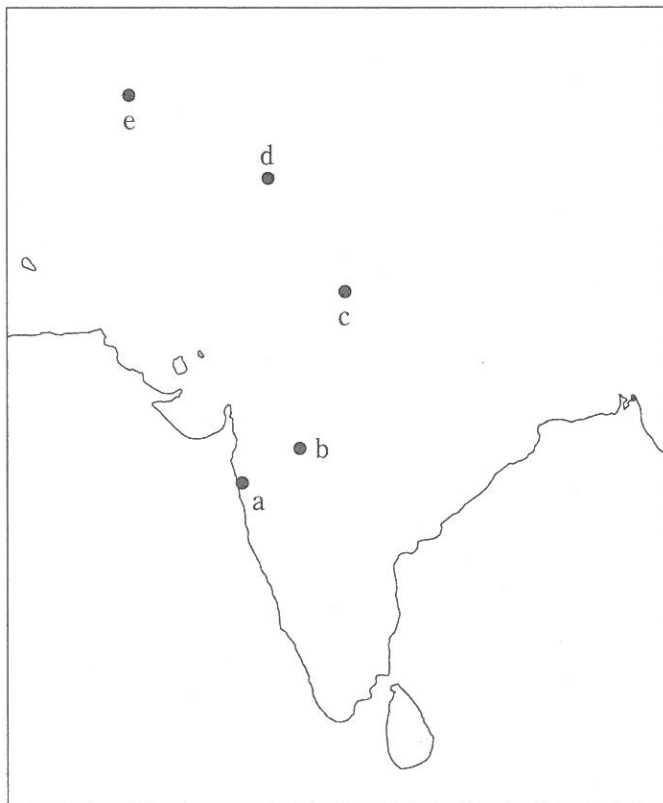
問4 Iの王朝を滅ぼしたビルマ最後の王朝はどれか。

- a タウンゲー(トゥングー)朝
- b ラーンサーン王国
- c スコータイ朝
- d コンバウン(アラウンパヤー)朝
- e パガン朝

II ここはインド西部にある断崖に位置する仏教遺跡で、その主たる部分の特徴づけるのは明確な輪郭線や鮮やかな色彩の壁画である。この画法はアジア各地に伝播した。

問5 1983年世界遺産に登録されたこの遺跡はどこか。地図2の選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

地図2



問6 IIの仏教遺跡の南に位置する仏教・ヒンドゥー教・ジャイナ教の遺跡はどれか。

- a タージ=マハル b モエンジョ=ダーロ c ハラッパー
- d ドーラヴィーラー e エローラ石窟寺院

問7 下線部(イ)の美術様式はどれか。

- a ガンダーラ b ヘレニズム c グプタ d ムガル
- e ラージプート

問8 下線部(イ)が描かれたのと同じ頃に、インド東部に建設された僧院についての説明としてもっとも適切なものはどれか。

- a 仏教学院・大学の役割をもった。
- b ハルシャ王が、この僧院の創設を命じた。
- c この僧院では、カニシカ王により仏典結集が行われた。
- d 竜樹がこの僧院で、大乘仏教を理論化した。
- e 「海の道」の活性化にともない、マルコ=ポーロ、イブン=バトゥータ、鄭和らが来訪した。

Ⅲ ジャワ中部に建設されたこの遺跡は、1辺120 mの基壇に5層の方形壇と3層の円壇を重ねた構造をもつ。19世紀初頭、この遺跡はジャワ副総督のラッフルズによって発見され、これを契機として後に調査及び整備事業が開始された。

問9 1991年世界遺産に登録されたこの遺跡はどこか。地図1の選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

問10 IIIの遺跡の宗教とその建設を命じた王朝の正しい組み合わせはどれか。

- a ヒンドゥー教とシャイレンドラ朝
- b 大乘仏教とシャイレンドラ朝
- c ヒンドゥー教とマタラム朝
- d 大乘仏教とラタナコーシン朝
- e ヒンドゥー教とマジヤパヒト王国

問11 IIIの遺跡を建設した王朝は、スマトラ南部からマレー半島を支配していた港市国家を併合した。この港市国家はどれか。

- a チャンパー b ピュー c シュリーヴィジャヤ
- d 真臘 e クデイリ

問12 IIIの遺跡が発見された19世紀前半の東南アジアの説明として正しいものはどれか。

- a ジャワ西部に建てられたイスラーム国家バンテン王国は、胡椒輸出国として繁栄していた。
- b ラーマ5世は、中央集権体制を確立し独立を維持した。
- c ジャワ島人口の爆発的な増加の原因となった強制裁培制度が、オランダによって開始された。
- d メコン川以東がフランス領ラオスとされ、その後フランス領インドシナ連邦に編入された。
- e マレー半島では、ブラジルからもたらされた天然ゴムの苗とインド南部のタミル人の労働力導入により、ゴムのプランテーションが盛んとなった。

問13 上述Ⅰ～Ⅲの三つの世界遺産について、その建設の時期を早い順に並べた場合、正しいものはどれか。

a Ⅰ→Ⅱ→Ⅲ

b Ⅱ→Ⅲ→Ⅰ

c Ⅲ→Ⅰ→Ⅱ

d Ⅰ→Ⅲ→Ⅱ

e Ⅱ→Ⅰ→Ⅲ

